様式１

観光地域づくり法人形成･確立計画

記入日：令和 7 年 7 月 31 日

１．観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを〇で囲むこと	広域連携ＤＭＯ･(地域連携ＤＭＯ)･地域ＤＭＯ	
観光地域づくり法人の名称	一般社団法人 KIX 泉州ツーリズムビューロー	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	大阪府 堺市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、和泉市、高石市、 泉南市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町	
所在地	大阪府岸和田市宮本町 27-1	
設立時期	2018 年 4 月 1 日	
事業年度	4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの 1 年間	
職員数	7 人【正職員 3 人・出向等 3 人・派遣 1 人】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者）	（氏名） 南出　賢一 （出身組織名） 泉大津市	現泉大津市長。泉州地区の特性に精通し、域内外に幅広い人脈を有するとともに、団体の理事長としてマネジメント力と最終決定権をもつ。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（ＣＭＯ：チーフ・マーケティング・オフィサー	（氏名） 桝元　政明「専従」 （出身組織名） 南海電気鉄道㈱	本 DMO において事務局長として組織全体のマネジメントを司るとともに、南海電気鉄道㈱に在籍時は、沿線での観光事業の企画を行うなど泉州地域の実情にも詳しい。また鉄道の統計等各種調査及び複数のグループ会社の社長経験等により、マーケティングに基づくマネジメントの経験と知識を有している。
財務責任者（ＣＦＯ：チーフ・フィナンシャル・オフィサー）	（氏名） 高崎　尚之「専従」 （出身組織名） 南海電気鉄道㈱	本 DMO において予算・決算の総括ほか組織全体の統括を次長職として担っている。観光庁など行政機関とのやり取りや理事長市である泉大津市はじめ構成する 13 市町及び関西エアポートとの負担金・支援金の交渉窓口となっているほか、銀行からの借入業務なども担当している。
各部門 プロモーションの責任者（専門人材）	（氏名） 武田　美恵子「専従」 （出身組織名） （一社）KIX 泉州ツーリズムビューロー	本 DMO においてプロモーションを担当。広告代理店や大手出版社で長年の経験と実績を有し、Web・SNS 等に関しても知識と経験を有する。また広告代理店時代の経験を活かしイベント等の企画・運営にも強みを発揮する。
各部門 旅行商品の造成･販売の責任者（専門人材）	（氏名） 河内　智雄「専従」 （出身組織名） ㈱南海国際旅行	本 DMO において旅行商品の造成・販売を担当。旅行業界で商品企画、販売を長年担当しており、商品造成・販売に対するノウハウを有する。

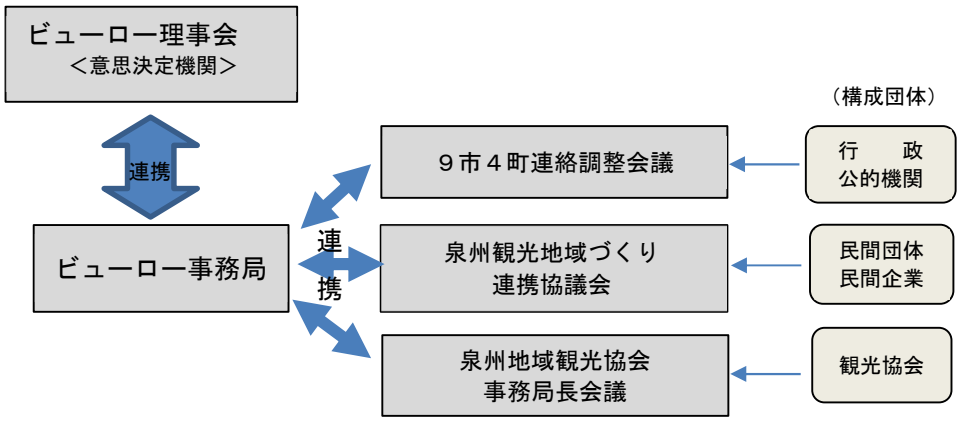
様式１

連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	・堺市文化観光局観光部観光企画課 ・岸和田市魅力創造部観光課 ・泉大津市政策推進部政策推進課、地域経済課 ・貝塚市総合政策部魅力づくり推進課 ・泉佐野市市長公室政策推進課、生活産業部まちの活性課 ・和泉市環境産業部産業振興室商工来訪促進担当 ・高石市総合政策部まち未来戦略室地域創生課 ・泉南市成長戦略室プロモーション戦略課 ・阪南市未来創生部まちの活力創造課 ・忠岡町産業住民部産業建築課 ・熊取町住民部産業振興課 ・田尻町事業部産業振興課 ・岬町まちづくり戦略室企画政策推進担当
連携する事業者名及び役割	・関西エアポート（株）（プロモーション） ・（株）池田泉州銀行（会員拡大、泉州観光地域づくり連携協議会運営支援） ・泉州地域広域観光連携協議会等（各市町商工会議所、商工会、商品造成） ・各市町観光協会（情報の一元化への協力、商品造成、イベント連携） ・交通事業者（二次交通整備、MaaS に向けた取り組み） ・地域の大学、専門学校等（地域連携、教育、地域 PR） ・堺ホテル協会、りんくうホテル協議会（受入整備、品質保証制度の検討） ・飲食・小売事業者（受入整備、地元食材を使った商品の開発） ・農業・漁業事業者（受入整備、体験型旅行商品の造成協力） ・堺市観光ボランティア協会、泉佐野地域通訳案内士協会（ガイド派遣）
官民･産業間･地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	【該当する登録要件】①② ①「理事会」において交通事業者である南海電気鉄道㈱、JR 西日本（株）が参画、また堺市で地域振興にも取り組む真生印刷（株）等が会員として参画し、意思決定に参加。 ②泉州地域 9 市 4 町の自治体の関連部署が参加し、各自治体と当法人の観光事業に対する実務者レベルでの調整・連携・共有・合意の会議体を設けている。事務局は当法人が担い、概ね月 1 回の会合を開催。 また、観光事業関係者、飲食・小売事業者、宿泊事業者、交通事業者、商工会、行政が参画し、当法人が事務局を務める「泉州観光地域づくり連携協議会」を 2020 年 10 月に設立し、総会のほか研修及び情報連携の場を設置。
地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組	○2024 年 10 月　「人流ビッグデータを用いた観光分析・事例」をテーマに、(株)ＧＥＯＴＲＡ研究員を講師としてセミナーを開催。 ○2025 年 1 月　「データ分析と活用について」をテーマに、(株)Simple Honesty の代表を講師としてセミナーを開催。 ○2025 年 2 月　「泉州はうまいものの宝庫！―食と歴史の視点から―」をテーマに、大阪府立弥生文化博物館の学芸員を講師としてセミナーを開催。 ○2025 年 3 月　「いのち輝く理想の“ものづくり”とオープンファクトリー」をテーマに、(株)スマイリーアース代表を講師として、セミナーを開催。

法人のこれまでの活動実績

【活動の概要】

事業	実施概要
情報発信・プロモーション	○多言語 Web サイト・SNS での一元的な情報発信 ・Web サイト：日本語・英語・繁体字・簡体字・韓国語 タイ語・インドネシア語・ベトナム語・ スペイン語・フランス語・ドイツ語 ・Facebook　：日本語 ・Instagram ：日本語 Web サイトを再構築に加え、AI による観光コースの提案機能を実装し、訪問者に最適な観光ルートを提案できる仕組みを導入。この AI 機能はユーザーの興味や滞在時間移動手段を考慮し、地域の観光名所や隠れた魅力的なスポットを組み合わせたコースを提案。訪問者は効率的かつ多様な観光体験を楽しむことができ、個々のニーズに応じた旅行プランを提供することが可能となる。また、市町やエリア内のイベント情報の発信作業を内製化し、迅速な情報発信を実現。 ○MATCHA 等海外情報発信メディアを利用した情報の発信。 ○泉州地域の飲食店を紹介する WEB サイト「泉州レストラン」を構築。泉州エリアの飲食店の情報を掲載したＷｅｂサイトを立ち上げ、関西国際空港の対岸に位置するりんくうタウンなどのホテルにその QR コードを掲載したチラシ等を配布し、旅行者をサイトへ誘導。 ○大阪のホテルの客室等に設置されている情報誌「大阪観光コンシェルジュ」に泉州の飲食店や旬の海の幸、山の幸等を紹介する記事を掲載。 ○大阪泉州エリアを紹介する情報誌「るるぶ大阪泉州特別編集版」（日本語、英語併記）を作成し、大阪・関西万博のプレイベント等で配布。
受入環境の整備	○地域の様々な業界の事業者が会員である「泉州観光地域づくり連携協議会」において、観光データの活用等に関するセミナーを開催するとともに、会員相互で近況を含めた情報を交換するワークショップを開催し、会員相互の連携を図り、事業の連携にもつながった。 ○観光庁の補助事業により当 DMO におけるデータマーケティングのあり方について専門人材とともに検討を深めるとともに、オープンデータを基に市町の職員や「泉州観光地域づくり連携協議会」の会員事業者に対するセミナーや勉強会を実施。
観光資源の磨き上げ	○泉州各市町の観光コンテンツ磨き上げを行い、継続的に販売できる体制を構築。国内はもとよりインバウンド向けに OTA 販売実施。 ○大阪府のガストロノミーツーリズム実証事業に参画し、泉州地域の食について、その歴史、風土を学び、生産者及び飲食事業者の思いを理解したいうえで楽しむツアーを造成し、モニターツアーを実施。次年度は造成したツアーの販売を予定。

	○「泉州と和歌山を周遊するサイクルスタンプラリー」を和歌山市との連携のもと開催。新たなスポットを加えるとともに、訪れた先で飲食や買い物に誘導する情報をシステム上で発信し、経済波及効果を創出。 **【定量的な評価】** ○日本語版ウェブサイト （2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日） 年間 59.3 万 PV　　年間 28.9 万 UU （2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日） 年間 51.0 万 PV　　年間 25.7 万 UU
実施体制 ※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。	**【実施体制の概要】** ○（一社）KIX 泉州ツーリズムビューロー理事会 13 市町の首長及び関西エアポート(株)、(株)池田泉州銀行などの民間企業から構成。当法人の事業方針、計画、予算・決算の議論・決定を行う機関（概ね年 4 回程度開催） ○9 市 4 町連絡調整会議 構成 13 市町や関西エアポート(株)、大阪府、大阪観光局などの関係機関の実務担当者による情報連携及び協議の場（概ね月 1 回開催） ○泉州観光地域づくり連携協議会 行政、観光協会、商工会、交通事業者、ガイド協会、宿泊事業者、飲食小売事業者、農業・漁業生産者など多様な関係者が参画し、観光事業に関する研修の実施や情報交換の場とするほか、将来的には部会ごとの事業展開の母体への成長をめざす。（年 4 回程度開催） ○泉州地域観光協会事務局長会議 各市町の観光協会等の連携を目的に、情報・意見交換の場として年 3 回開催。これらの連携のもとに「大阪泉州牡蠣フェス」を 1 月～3 月にかけて開催。昨年度は開催エリアが前年度の 6 市 4 町から 7 市 4 町に拡大。 **【実施体制図】** 

様式１

２．観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】

【区域設定の考え方】

○　2012 年 9 月、泉州地域（堺市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、和泉市、 高石市、泉南市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町及び岬町）の自治体を構成員とする「泉州観光プロモーション推進協議会」が設立され、関西国際空港（KIX）の運営企業である関西エアポート㈱と連携しながら、地域の観光資源の特性を生かし地域の活性化、国内外市場での泉州ブランドの確立のためインバウンドプロモーションをはじめとする取り組みを開始。

○　泉州地域は、その温暖な気候と相まって海や山などの自然や農水産物に恵まれ、さらに、世界遺産である「百舌鳥・古市古墳群」をはじめとする歴史・文化的資源や地車（だんじり）、ふとん太鼓、やぐらなどの伝統的な祭りなど魅力ある観光資源が豊富な地域である。

○　関西国際空港の地元である泉州地域が、空港から出入国される外国人旅行者に通過されてしまうことのないよう、観光ブランド力を磨き上げることによりこの地域を周遊していただき、宿泊、飲食、ショッピング等により消費額を拡大し、地域に経済波及効果をもたらす。

○　多くのポテンシャルを秘めたこの地域の行政や企業、団体、事業者、住民が一体となり、泉州らしい観光地域づくり及び観光地経営を進めていくことが、今後の地域経済の発展のために有効であることから当該地域を区域設定としている。

【観光客の実態等】

○　泉州地域の外国人旅行者数は、2023 年度 342 万人、2024 年度 476 万人。
（泉州地域のクレジットカードの消費額データ、観光庁データを基に算出）
2024 年度の訪日外国人の旅行者数や消費動向を見ても、旅行者数の伸びや消費の拡大は顕著である。ただ、泉州エリア内で外国人旅行者が訪れる地域は泉佐野市に集中しており、空港近くでの宿泊やアウトレットモールでのショッピングが主な目的である。一方で、ゴルフ場を中心とするレジャー需要やフルーツ狩り等の体験消費は伸びつつあり、これらの経済波及を地域全体へ広げていくことが求められる。

様式１

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

〇泉州地域の多彩な観光資源を周遊できるコンテンツに活用していく。

・大阪産（もん）に代表される「天下の台所 大阪」を支えてきた伝統的な農水産物が豊かな産地。
　生産地と消費地が近いことから「新鮮な」食材の宝庫で、「地」の食材を活かした飲食店も数多い。
・イチゴ、ブドウ、ブルーベリー等の収穫体験ができる観光農園が増加。
・だんじり祭り、ふとん太鼓、やぐらなど多様で地域性のある祭礼関連の伝統文化が全域で伝承。
・長い歴史に支えられた堺の打ち刃物、線香、泉大津の毛布、岸和田の桐箪笥、貝塚のつげ櫛、阪南市の大阪最古の酒蔵等の日本酒、泉州タオル等などストーリー性のある地場産業。
・岸和田城に代表される伝統的建造物と城下町の景観。
・世界遺産である「百舌鳥・古市古墳群」に代表される歴史文化遺産群。
・日本遺産「葛城修験」の地、「修行の聖地」としての文化遺産。
・大阪湾と和泉山脈に挟まれた海と山が近接する独特の地形・景観とそれに基づく風土。
・訪日旅行者に人気のショッピングモール「りんくうプレミアム・アウトレット」。
・関西国際空港に隣接するりんくうタウンエリアの宿泊中心のホテル集積。
・貝塚市の奥水間、泉佐野市の犬鳴山温泉ほか上質な泉質の閑静な温泉街。
・畳作り体験が可能なゲストハウスや一棟貸し古民家宿など多種多様な宿泊施設。
・地形や景観を活かした低価格帯から高価格帯までの多種多様なゴルフ場。

テーマ	主な観光資源・スポット	地域
歴史文化 産業体験	さかい利晶の杜、堺市博物館、大仙公園日本庭園、 水野鍛錬所、 堺市茶室 伸庵、堺市茶室 黄梅庵、シマノ自転車博物館、堺伝匠館	堺市
	専稱寺・大阪ガス科学館・臨海スポーツセンター	高石市
	池上曽根弥生学習館	泉大津市
	和泉市久保惣記念美術館、道の駅いずみ山愛の里、いずみふれあい農の里	和泉市
	岸和田城、五風荘、だんじり会館	岸和田市
	紀泉わいわい村、泉南市埋蔵文化財センター	泉南市
	煉瓦館（熊取交流センター） 、中家住宅	熊取町
	田尻歴史館	田尻町
祭り	月見祭り（ふとん太鼓）	堺市
	だんじり祭り	泉州各実施地区
	太鼓台祭り	貝塚市
	秋祭り・やぐら	阪南市・泉南市
食文化	水なす、泉州たまねぎ、包近（かねちか）の桃、綾誉（人参）、 なにわ黒牛、しらす、アナゴ、泉だこ、サワラ、黒鯛、スズキ、牡蠣、 松波キャベツ、果物狩り（みかん・ブドウ・いちご）	泉州地域 泉州海域
公園	浜寺公園	堺市・高石市
	和泉リサイクル環境公園	和泉市
	シーパスパーク、なぎさ公園	泉大津市
	二色の浜公園ブルーパーク	貝塚市
	SENNAN LONG PARK	泉南市
	りんくう公園（マーブルビーチ）	泉佐野市、泉南市、 田尻町
地酒・クラフトビール	井坂酒造場、岸和田ビール	岸和田市
	北庄司酒造、ＫＩＸビール	泉佐野市
	浪花酒造	阪南市

海水浴場	二色の浜海水浴場（国際環境認証「ブルーフラッグ」取得）	貝塚市
	タルイサザンビーチ （りんくう南浜海水浴場）	泉南市
	箱作海水浴場（ぴちぴちビーチ）	阪南市
	淡輪ときめきビーチ	岬町
自然体験	ハーベストの丘、観光農園 南楽園、フラワー農園コスモス館、ノアドルフィンドーム	堺市
	かいづかいぶきヴィレッジ、奥水間アスレチックスポーツ	貝塚市
	こーたり～な	泉佐野市
	いずみふれあい農の里	和泉市
	岸和田観光農園	岸和田市
	紀泉わいわい村、花咲きファーム、海上釣り堀サザン	泉南市
	山中渓の桜並木、わんぱく王国、すだて漁	阪南市
	地引網体験	泉南市、阪南市
	潮干狩り	貝塚市、阪南市、岬町
	奥山雨山自然公園・永楽ゆめの森公園、和田山 Berry Park	熊取町
	海鮮バーベキュー、海釣ぽーと田尻	田尻町
	海釣り公園とっとパーク小島	岬町
宿泊施設	牛滝温泉四季まつり	岸和田市
	奥水間温泉	貝塚市
	犬鳴山温泉	泉佐野市
	SORA RINKU、URBAN CAMP HOTEL Marble Beach	泉南市
	大阪府立青少年海洋センター	岬町
商業施設 道の駅等	りんくうプレミアム・アウトレット、泉佐野漁協青空市場	泉佐野市
	SENNAN LONG PARK（グランピング等複合施設）、イオンモールりんくう泉南	泉南市
	道の駅愛彩ランド	岸和田市
	ららぽーと和泉、道の駅いずみ山愛の里	和泉市
	月化粧ファクトリー（工場見学）	阪南市
	道の駅みさき夢灯台	岬町
ゴルフ場	泉ヶ丘カントリークラブ	堺市
	岸和田カントリークラブ	岸和田市
	泉佐野カントリークラブ	泉佐野市
	関西空港ゴルフ倶楽部	和泉市
	泉南カンツリークラブ	泉南市
	大阪ゴルフクラブ	岬町

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

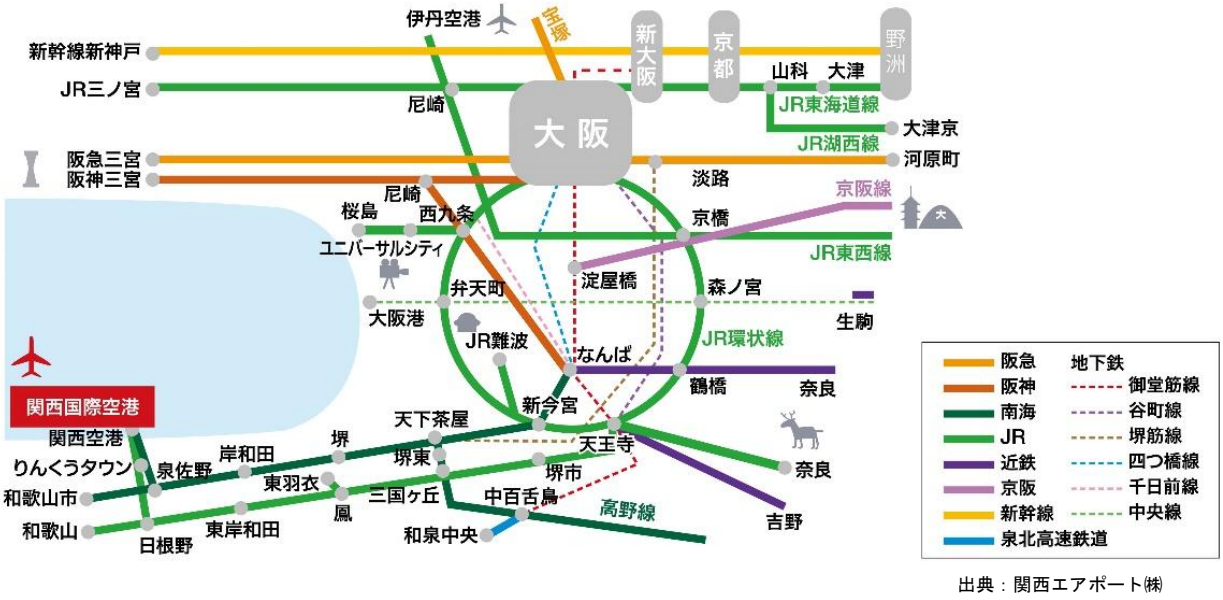
○　2023 年度末で、旅館・ホテル 1,576 施設（客室数 123,056）、簡易宿所 747 施設となっている。
（政府統計の総合窓口（e-Stat）（衛生行政報告例）より）

○　関西空港隣接のりんくうタウンエリアでは、外資系ほかホテルが集積しているが宿泊特化型ホテルが中心。その他、外国人旅行者をターゲットとした民泊施設も増加している。

○　その他のエリアでは JR や南海電鉄の駅前等にホテルが進出しているが、主なターゲットは出張等のビジネス需要であり、一部、訪日団体旅行者の大阪市内・京都・奈良・和歌山への中継需要を取り込んでいるケースもある。

【利便性：区域までの交通、域内交通】

○　関西空港エリアを拠点に大阪市内までの南北を JR、南海電鉄が貫き、空港リムジンバスが泉州北部、大阪市内他の各鉄道ターミナルと結んでいる。泉州域内の東西は、各鉄道駅から路線バス、タクシーが運行している。



出典：関西エアポート㈱

【外国人観光客への対応】

○　りんくうタウンや堺市内の施設では訪日旅行者への対応が進みつつあるが、その他のエリアでは訪日旅行者が少ないため、一部の施設を除き対応が遅れている。

○　泉州地域 9 市 4 町の各自治体では、多くが「外国語観光パンフレット」の発行と「主要駅における観光案内板の多言語表記」の整備を行っているが十分ではない。

○　飲食事業においては多言語表記やハラール・ビーガン等へ対応が未整備であるほか、外国人旅行者の受け入れマインドの醸成が急務な状況。

○　南北の鉄道網は発達しているが、東西の移動や鉄道駅から観光施設までの移動の手段がバス及びタクシーに限定され、その利便性を含め旅行者への移動サービスの整備が課題。

３．各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	訪日旅行者の消費傾向を分析し、商品造成への戦略につなげるため。	泉州地域における外国人旅行者のクレジットカード決済データをベースに観光庁のインバウンド旅行消費調査の比率により算出
延べ宿泊者数	宿泊者数の推移を把握するため。	大阪府の地域別延べ宿泊者数の推計値をベースに観光庁の宿泊旅行統計調査の比率により算出
来訪者満足度	訪日旅行者の満足度傾向を分析し、旅行商品造成の質の向上に繋げるため。	関西国際空港・りんくうアウトレットモールでのヒアリング調査により算出
リピーター率	リピーター顧客の動向を把握し、戦略立案に繋げるため。	関西国際空港・りんくうアウトレットモールでのヒアリング調査により算出
ＷＥＢサイトのアクセス状況	泉州への関心度や施策の効果等を把握するため。	Google Analytics 4 を活用して実施
訪日旅行者数	エリア別、国籍別、季節性の抽出によるターゲット、戦略の策定するため。	泉州地域における外国人旅行者のクレジットカード決済データをベースに観光庁インバウンド旅行消費調査(大阪府)の比率により算出

４．戦略

（１）地域における観光を取り巻く背景

※地域経済、社会等の状況を踏まえた観光地域づくりの背景

○　泉州地域は、古墳築造にみられるように、日本の歴史上非常に古くから経済文化の栄えた地域であった。平安期以降は、熊野詣の道程であった紀州街道が南北に貫き、多くの人々の旅を支えてきた地域でもあり、「天下の台所 大阪」を支える食や農水産物の供給地であった。

○　江戸期から明治期にかけて「北前船」による日本海海運が発達し、米や木綿、菜種、タバコなどの生産が盛んになるとともに、蝦夷地からの昆布を食に活用する文化が定着したほか、堺では鉄砲鍛冶の技術を活かしてタバコや昆布の加工用の打ち刃物製造が発展した。

○　明治期から昭和期にかけては繊維産業が繁栄し、多数の紡績工場が新設されるなど豊かな地域経済が築かれた。また、重化学工業やエネルギー産業の拠点として、泉北地域で大阪湾が埋め立てられたが、その反面環境汚染に苦しんだ。

○　平成期には関西国際空港の建設用に土砂が採取された跡地に多くの住宅が建設され、大阪市内への通勤のベッドタウンとして一部では人口が増加したものの、泉州地域全体としは繊維産業をはじめとする地場産業の衰退により人口が減少を続けるとともに高齢化か進んでいる。

○　泉州地域が歩んできた長い歴史から地域経済の現状をみると、農業、漁業、製造業等の地域経済の発展による貯蓄等の資産が根底にあり、住民の地域経済衰退に対する危機意識は低い。よって、行政主導で産業としての観光振興を進めているものの地域住民が外国人旅行者を迎え入れることへの抵抗感には根強いものがある。

○　現在、関西国際空港から出入国される外国人旅行者は、年々増加しているものの、主な目的地は大阪市内、京都、奈良といった主要観光地となっている。

　リピーターの外国人旅行者が増加しているものの、泉州地域を通過される状態にあり、周遊されていないのが現状。

○　関西国際空港対岸のりんくうタウン地区のホテル集積地には多くの外国人旅行者が宿泊されているものの、出国前のラスト１泊の利用が多く、泉州地域の周遊には至らず、同地区にあるアウトレットモールやコンビニエンスストアの利用に留まり、飲食業等への経済波及効果を及ぼせていないことが課題。
○　一方で、円安傾向の効果もあり、泉州地域のゴルフ場は東アジアの外国人旅行者を中心にインバウンド需要が広がっており、アウトレットモールのショッピングとゴルフ目的の来訪は着実に増加傾向にあり、一定の経済波及効果をもたらしている。

○　観光事業を地域経済の新たな柱として育成していくために、市町の境界にとらわれず、泉州地域全体で取り組みを進めていく必要がある。DMO として、泉州地域が誇る観光資源を活用した地域連携観光の仕組みづくりを進めることが重要。泉州地域全体でインバウンドを含む旅行者・観光客の誘致を図り、地域での消費の促進、新たな雇用の創出、投資の呼び込み等による地域経済や地域住民生活の向上への取り組みをリードしていく。

（２）地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	**強み（Strengths）** **○自地域で積極的に活用できる強みは何か？** ・関西国際空港との近接性及びその知名度 ・大阪市内、京都、奈良、和歌山などの観光ブランド力の高い地域との近接性 ・百舌鳥古墳群、岸和田城、寺社仏閣など、歴史・文化的観光資源 ・だんじり祭りなど独特な伝統文化 ・生産地と消費地が近く、新鮮な海・山・里の食材が豊富 ・伝統工芸などストーリー性の高い独特な観光資源	**弱み（Weaknesses）** **○自地域で改善を必要とする弱みは何か？** ・泉州域内を回遊するための鉄道駅からの二次交通が不足 ・多言語表記等のハード面での外国人旅行者の受入態勢が脆弱 ・地域における外国人旅行者を受け入れるマインドの不足 ・外国人旅行者に響くような強い観光コンテンツがない。 ・高級ホテルがなく、宿泊施設はりんくうタウン地区を除いて少ない。
外部環境	**機会（Opportunity）** **○自地域にとって追い風となる要素は何か？** ・インバウンドがコロナ前を超える回復基調 ・泉州の強みである食への関心の高さ ・泉州の強みである伝統産業への関心の高さ ・体験型コンテンツに対する関心の高さ ・関西国際空港の発着枠拡充 ・2025 関西・大阪万博、IR（統合型リゾート）の開業などの集客機会	**脅威（Threat）** **○自地域にとって逆風となる要素は何か？** ・観光コンテンツや旅行者の消費先となりうる事業者の減少 ・他地域による訪日旅行者誘客への取組強化による地域間競争の激化 ・生産者、事業者の高齢化による減少

※上記に加え、ＰＥＳＴ分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

（３）ターゲット

〇第１ターゲット層
　東アジア（韓国・台湾・香港・中国）の関西圏を周遊する訪日リピーター
　当法人では、これを「重点市場」と位置付けている。

〇選定の理由
　泉州地域に近接する関西国際空港から入国する外国人のうち、約７割を東アジアからの来訪者が占めており、コンスタントに集客が見込める市場である。
　りんくうタウン地区のホテルに多くが宿泊している実態がある。

〇取組方針
　入国、帰国の前後泊や、旅行最終日における商業施設来訪が集中している旅行者に地域全体を周遊していただくためにリピーターの旅行者をターゲットとする。
　現状、りんくうタウン地区のホテルに多くが宿泊しているが、アウトレットモールやコンビニエンスストア、ディスカウントストア、ドラッグストア、家電量販店等の利用に留まっているため、関西国際空港等でのヒアリング調査結果を分析のうえ、情報発信や受入整備を戦略的に行なっていく。

〇第２ターゲット層
　東南アジア（タイ・ベトナム・インドネシア等）の関西圏を周遊する訪日リピーター
　当法人ではこれを「戦略市場」と位置付けている。

〇選定の理由
　関西への訪問率が大きく伸長している市場である。東アジアと比べても旅行日数に余裕がある富裕層が多く、都市部や既存の観光ルートに飽きた層がローカルエリアへの観光へ移行していることから、泉州地域でニーズにそった観光を提供できる。
　ベトナムについては関西圏に留学している学生が多く、岬町にある技能実習生の研修施設で入国後の研修を受けている実習生も数多い。彼らが発信するSNSの情報を受けて訪日される旅行者が期待できる。

〇取組方針
　限られた経営資源を有効利用するという視点から、まずは第一ターゲットへ経営資源を集中的に投下していく方針であるが、JNTO、大阪観光局等の関係機関との連携や海外向け情報発信に強いメディア等を活用して旅マエの情報発信に取り組む。
　また、ハラール等の「食の多様化」に向けてピクトグラム等を活用して対応を進めていく。

〇第３ターゲット層
　欧米豪の訪日旅行者

〇選定の理由
　日本の歴史・文化や食への関心が高く、体験コンテンツへの要望が強い。関東方面の観光コンテンツが飽和状態となり、関西以西の観光にシフトしており、関西では欧米豪の訪日旅行者が増加の傾向にある。通常、旅程が長期にわたるためその間に一定数の訪問が期待できる。

〇取組方針
JNTO、大阪観光局等の関係機関との連携や海外向け情報発信に強いメディア等を活用して旅マエの情報発信に取り組む。また、現在、ガストロノミーツーリズムのコンテンツ開発に取り組んでおり、富裕層の顧客を持つOTA等と連携して販売態勢を確立する。

（４）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	関西国際空港のゲートウェイ泉州 “コンパクトツアーによる地域周遊” ～「食」、「歴史・文化」、「体験」を楽しむ「手ぶら観光」～
②コンセプトの考え方	関西国際空港のゲートウェイである泉州は「食（生産地と消費地が近く食材の宝庫）」、「歴史・文化（寺社仏閣、伝統産業、祭り）」、「体験（海・山のアクティビティ、フルーツ狩り）」など多種多様な観光コンテンツを有する地域である。また、関空対岸のりんくうタウンには多くの外国人旅行者が宿泊しているが、出国時のフライトまでの時間調整やアウトレットモールでのショッピングが主な目的であり、観光の目的地になれていない。 よって、りんくうタウンや大阪市内に宿泊している外国人旅行者を中心に、泉州地域の観光コンテンツを組み合わせた多様なコンパクトツアーにより、当地域での消費を創出。 さらに「手ぶら観光」を手軽なものとして定着させるために、二次交通や手荷物配送サービスの構築に向けて関係箇所と連携していく。

５．関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	1. 理事会（概ね年４回）、総会 （概ね年１回） 2. 9 市 4 町連絡調整会議 （概ね月１回） 3. 泉州観光地域づくり連携協議会（概ね年４回） 4. 泉州地域観光協会事務局長会議（概ね年２回）
	1. 当 DMO の意思決定主体。戦略、予算、年度事業計画、事業の進捗、事業結果・分析、決算などの共有と協議、合意形成を図る。 2. 当 DMO の年度事業計画、事業結果・分析などを共有しながら、ビジョン構築、戦略のブラッシュアップを図る。 3. DMO を中心に泉州の多様な関係者をつなぎ、観光地域づくりにおける合意形成を推進する会議体。セミナーやワークショップ等を行い、観光振興における課題分析等を実施するなど情報連携を図っている。 4. DMO として泉州地域内の観光協会と意見交換、情報連携等を行うとともに「大阪泉州牡蠣フェス」等の共同事業を実施。
観光客に提供するサービスについて、維持･向上・評価する仕組みや体制の構築	○満足度調査における調査・分析結果を泉州市町にフィードバックし、受入の質の向上につなげる。 ○空の玄関口である関西国際空港をエリア内に持つ全国でも数少ない特徴的な地域である。観光の空白地帯と称された泉州観光のブランド力を向上させ、大阪、関西、日本旅行の「はじめの一歩」「最後の一歩」としての観光圏としての機能を持つことができるよう泉州 9 市 4 町の連携を強化して事業を展開する。 ○泉州地域の観光協会事務局長会議で共同開催している「大阪泉州牡蠣フェス」のように、当 DMO がプラットフォームを構築し、各市町や観光協会が参画し、連携が拡大していくような体制を構築していく。 ○月１回開催している「泉州 9 市 4 町連携調整会議」における情報連携を充実させるとともに、参加者が意見を述べ、議論できる会議体へ進化させていく。
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信･プロモーション	○泉州地域全体の情報を当 DMO が Instagram、Facebook 等の SNS により発信。フォロワーが求めている情報を、十分な情報収集と丁寧な取材により的確に発信し、フォロワーのさらなる拡大をめざす。

	○リニューアルしたWebについて採択された観光庁の補助金を活用し、さらに機能強化するとともに利便性向上を図る。CRMや地域OTA等の機能を搭載することにより、DMOに求められる役割を果たすことが可能となる。

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

６．ＫＰＩ（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後３年間における明確な数値目標を記入すること。
※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去３年間の実績も記入すること。

（１）必須ＫＰＩ

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●旅行消費額（億円）	目標	－	－	－	－	－	－
		(1,347)	(1,021)	(1,200)	(1,350)	(1,480)	(1,550)
	実績	－	－	－			
		(110)	(788)	(1,130)			
●延べ宿泊者数（万人）	目標	－	－	－	－	－	－
		(180)	(137)	(250)	(128)	(139)	(144)
	実績	－	－	－			
		(26)	(81)	(109)			
●来訪者満足度（ポイント）（7段階評価）	目標	－	－				
		(7.0)	(6.3)	(6.5)	(6.5)	(6.6)	(6.7)
	実績	－	－	－			
		(6.2)	(6.5)	(6.4)			
●リピーター率（%）	目標	－	－				
		(50)	(50)	(15)	(21.0)	(21.5)	(22.0)
	実績	－	－	－			
		(35)	(6.7)	(20.7)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】
泉州地域で独自に実施した統計調査及び関西国際空港等におけるアンケート調査の結果をベースに観光庁の統計データの比率により実績値を算出。目標値については泉州地域へ主に関西空港からの訪日旅行客を誘客することを鑑み、関西広域連合や大阪観光局の計画における目標値を参酌し目標設定を行った。

【設定にあたっての考え方】
●旅行消費額
泉州地域における外国人旅行者のクレジットカード決済データをベースに、観光庁のインバウンド旅行消費調査(大阪府)の比率により算出。
目標値については経緯記載と同じく、これまでの伸び率を参考に他団体等を参考に設定。

●延べ宿泊者数
大阪府の地域別延べ宿泊者数の推計値及び観光庁の宿泊旅行統計調査の比率により算出。
目標値については経緯記載と同じく、これまでの伸び率を参考に他団体等を参考に設定。

●来訪者満足度
実績値については関西国際空港・りんくうアウトレットモールでのヒアリング調査により算出。
目標値については経緯記載と同じく、これまでの伸び率を参考に他団体等を参考に設定。
●リピーター率
実績値については関西国際空港・りんくうアウトレットモールでのヒアリング調査により算出。
目標値については経緯記載と同じく、これまでの伸び率を参考に他団体等を参考に設定。

（２）その他の目標

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●訪日旅行者数（万人）	目標	－	－	－	－	－	－
		（ 365 ）	（ 277 ）	（ 365 ）	（ 570 ）	（ 620 ）	（ 650 ）
	実績	－	－	－			
		（ 23 ）	（ 342 ）	（ 476 ）			
●一人当たりの訪日旅行消費額（千円）	目標	－	－	－	－	－	－
		（ 33.0 ）	（ 34.5 ）	（ 35.0 ）	（ 24.3 ）	（ 24.5 ）	（ 24.6 ）
	実績	－	－	－			
		(48.0)	(23.1)	(23.9)			
●Web サイトアクセス数（千 pv）	目標	134	392	600	650	700	750
		（ － ）	（ － ）	（ － ）	（ － ）	（ － ）	（ － ）
	実績	392	510	593			
		（ － ）	（ － ）	（ － ）			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値
※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】
泉州地域で独自に実施した統計調査及び関西国際空港等におけるアンケート調査の結果をベースに観光庁の統計データの比率により実績値を算出。目標値については泉州地域へ主に関西空港からの訪日旅行客を誘客することを鑑み、関西広域連合や大阪観光局の計画における目標値を参酌し目標設定を行った。

【設定にあたっての考え方】
●訪日旅行者数
泉州地域における外国人旅行者のクレジットカード決済データをベースに、観光庁のインバウンド旅行消費調査(大阪府)の比率により算出。
目標値については経緯記載と同じく、これまでの伸び率を参考に他団体等を参考に設定。
●一人当たりの訪日旅行消費額
泉州地域における外国人旅行者のクレジットカード決済データをベースに、観光庁のインバウンド旅行消費調査(大阪府)の比率により算出。
目標値については経緯記載と同じく、これまでの伸び率を参考に他団体等を参考に設定。
●WEB サイトアクセス数
『大阪泉州観光ガイド』の WEB アクセス数の実績値を表記。
目標値については過去の伸び率等を踏まえて設定。

様式１

．活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後３年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。
※現に活動している法人にあっては、過去３年間の実績も記入すること。

（１）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）
2022（Ｒ４）年度	311,453,003（円）	受取会費 2,790,000（円） *正会員・賛助会員費 事業収入 64,489,000（円） *泉州マラソン参加費 17,373,718（円） *収益事業 受取補助金 69,790,150（円） *関　空利用促進支出金 *国からの補助金 受取協賛金 23,811,338（円） *事業協賛金 受取負担金 78,545,000（円） *市町負担金 マラソン基金 8,484,000（円） *引継ぎ分繰り入れ その他収入 2,873（円） 繰越金組み入れ 46,166,924（円）
2023（Ｒ５）年度	125,626,603（円）	受取会費 2,865,000（円） *正会員・賛助会員費 事業収入 12,493,059（円） *収益事業 受取補助金 51,200,930（円） *関空利用促進支出金 *国からの補助金 受取負担金 37,845,000（円） *市町負担金 その他収入 341,309（円） 繰越金組み入れ 20,881,305（円） ※マラソン事業はR5年度他団体に移管
2024（Ｒ６）年度	109,171,270（円）	受取会費 3,240,000（円） *正会員・賛助会員費 事業収入 8,462,919（円） *収益事業 受取補助金 53,480,685（円） *関空利用促進支出金 *国からの補助金 受取負担金 37,845,000（円） *市町負担金 その他収入 1,987,666（円） 繰越金組み入れ 4,155,000（円）
2025（Ｒ７）年度	104,800,000（円）（見込み）	受取会費 3,300,000（円） *正会員・賛助会員費 事業収入 11,300,000（円） *収益事業 受取補助金 50,350,000（円） *関空利用促進支出金 *国からの補助金 受取負担金 37,845,000（円） *市町負担 繰越金組み入れ 2,005,000（円）
2026（Ｒ８）年度	102,795,000（円）（見込み）	受取会費 3,300,000（円） *正会員・賛助会員費 事業収入 11,300,000（円） *収益事業 受取補助金 50,350,000（円） *関空利用促進支出金 *国からの補助金 受取負担金 37,845,000（円） *市町負担金
2027（Ｒ９）年度	102,795,000（円）（見込み）	受取会費 3,300,000（円） *正会員・賛助会員費 事業収入 11,300,000（円） *収益事業 受取補助金 50,350,000（円） *関空利用促進支出金 *国からの補助金 受取負担金 37,845,000（円） *市町負担金

様式１

（２）支出

年（年度）	総支出	内訳（具体的に記入すること）		
2022（Ｒ４） 年度	272,921,698（円）	事業費	190,239,889（円）	*プロモーション費 *受入整備費 *マラソン事業費
		補助金事業費	25,410,175（円）	
		管理費	57,271,634（円）	*人件費・事務所費
2023（Ｒ５） 年度	119,468,699（円）	事業費	33,830,674（円）	*プロモーション費 *受入整備費
		補助金事業費	24,956,957（円）	
		管理費	60,611,068（円）	*人件費・事務所費
2024（Ｒ６） 年度	106,185,261（円）	事業費	20,581,771（円）	*プロモーション費 *受入整備費
		補助金事業費	33,136,196（円）	
		管理費	50,964,582（円）	*人件費・事務所費
2025（Ｒ７） 年度	104,800,000（円） （見込み）	事業費	46,650,000（円）	*プロモーション費 *受入整備費
		補助金事業費	2,750,000（円）	
		管理費	55,400,000（円）	*人件費・事務所費
2026（Ｒ８） 年度	102,795,000（円） （見込み）	事業費	44,645,000（円）	*プロモーション費 *受入整備費
		補助金事業費	2,750,000（円）	
		管理費	55,400,000（円）	*人件費・事務所費
2027（Ｒ９） 年度	102,795,000（円） （見込み）	事業費	44,645,000（円）	*プロモーション費 *受入整備費
		補助金事業費	2,750,000（円）	
		管理費	55,400,000（円）	*人件費・事務所費

（３）自律的･継続的な活動に向けた運営資金確保の取組･方針

●行政（泉州地域 9 市 4 町）からの負担金による活動支援
●関西エアポート株式会社からの関空利用促進・PR 支出金による活動
●以下の事業を実施し、一定の収益を確保
　・会員拡大による会費収入の安定的確保
●旅行業登録による自主財源の確保
●行政（大阪府、泉州 9 市 4 町など）からの事業受託
●公益信託泉州地域振興基金の活用検討
●観光庁等補助金事業、会員からの受託事業による収入の拡充

８．観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

泉州地域 9 市 4 町（堺市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、和泉市、高石市、泉南市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻及び岬町）は、泉州地域の観光地域づくりのかじ取り役としてその役割を一般社団法人 KIX 泉州ツーリズムビューローに託し、行政ならびに地域の事業者が一体となり、泉州の観光地域づくりに協力しています。よって同圏域における観光地域づくり法人として登録されることに同意します。

９．マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携ＤＭＯ（県単位以外）や地域ＤＭＯと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

【他の地域連携ＤＭＯや地域ＤＭＯとの間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った（行っている）か】

エリアが重複する地域 DMO として泉佐野シティプロモーション推進協議会（以下「ICP」）がある。必要に応じて連携を図るとともに、当法人が運営する「泉州観光地域づくり連携協議会」及び「観光協会事務局長会議」に参画いただいている。

【区域が重複する背景】

ICP は泉佐野市の観光振興組織が DMO 登録したものであり、当法人は泉州地域 9 市 4 町が連携して設立した泉州観光プロモーション推進協議会ほか 3 団体が統合して設立され後に DMO 登録したため。

【重複区域における、それぞれの DMO の役割分担について】

基本的には ICP は泉佐野市からの受託業務を中心に泉佐野市内の事業を行っており、当法人は泉州地域全体又は泉佐野市と他の市町が連携する事業を独自に行っている状況で役割分担できている。
また、当法人が泉佐野市に関係する事業を行う際には常に連携を図っている。

【前述の役割分担等によって、効率的、効果的な活動の遂行が期待できるか】

各種会議体ほか常に情報連携して事業を進めている。今後は双方での着地型旅行商品の販売など連携を深めることを検討している。

１０．記入担当者連絡先

担当者氏名	高崎　尚之
担当部署名（役職）	事務局次長
郵便番号	596-0054
所在地	大阪府岸和田市宮本町 27-1 泉州ビル 8F
電話番号（直通）	072-436-3440
ＦＡＸ番号	072-423-4741
Ｅ－ｍａｉｌ	kix-senshu@kstb.jp

１１．関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県･市町村名	大阪府堺市
担当者氏名	松木　信生
担当部署名（役職）	文化観光局 観光部 観光企画課　主幹
郵便番号	590-0078
所在地	堺市堺区南瓦町 3-1
電話番号（直通）	072-228-7493
ＦＡＸ番号	072-228-7342
Ｅ－ｍａｉｌ	kanki@city.sakai.lg.jp

都道府県･市町村名	大阪府岸和田市
担当者氏名	井上　江美
担当部署名（役職）	魅力創造部 観光課　課長
郵便番号	596-8510
所在地	岸和田市岸城町 7-1
電話番号（直通）	072-423-9501
ＦＡＸ番号	072-423-2384
Ｅ－ｍａｉｌ	kankou@city.kishiwada.osaka.jp

様式１

都道府県･市町村名	大阪府泉大津市
担当者氏名	川﨑　直也
担当部署名（役職）	市長公室　次長　兼　政策推進統括監
郵便番号	595-8686
所在地	泉大津市東雲町 9-12
電話番号（直通）	072-531-1131
ＦＡＸ番号	072-531-0412
Ｅ－ｍａｉｌ	seisaku@city.izumiotsu.osaka.jp

都道府県･市町村名	大阪府貝塚市
担当者氏名	柴田　健次
担当部署名（役職）	総合政策部 魅力づくり推進課　主幹
郵便番号	597-8585
所在地	貝塚市畠中 1-17-1
電話番号（直通）	072-433-7192
ＦＡＸ番号	072-433-7233
Ｅ－ｍａｉｌ	miryoku@city.kaizuka.lg.jp

都道府県･市町村名	大阪府泉佐野市
担当者氏名	石田　隆也
担当部署名（役職）	生活産業部 まちの活性課　係長
郵便番号	598-0007
所在地	泉佐野市上町 3-11-48
電話番号（直通）	072-469-3131
ＦＡＸ番号	072-463-1827
Ｅ－ｍａｉｌ	kankou@city.izumisano.lg.jp

都道府県･市町村名	大阪府和泉市
担当者氏名	仲　俊輔
担当部署名（役職）	環境産業部 産業振興室 商工来訪促進担当　総括主幹
郵便番号	594-8501
所在地	和泉市府中町 2-7-5
電話番号（直通）	0725-99-8123
ＦＡＸ番号	0725-45-9352
Ｅ－ｍａｉｌ	shoukan@city.osaka-izumi.lg.jp

様式１

都道府県･市町村名	大阪府高石市
担当者氏名	坂口　朋之
担当部署名（役職）	政策推進部 まちの未来戦略室　地域創生課　課長
郵便番号	592-8585
所在地	高石市加茂 4-1-1
電話番号（直通）	072-275-6138
ＦＡＸ番号	072-275-6481
Ｅ－ｍａｉｌ	ti-sei@city.takaishi.lg.jp

都道府県･市町村名	大阪府泉南市
担当者氏名	城野　博文
担当部署名（役職）	成長戦略室 プロモーション戦略課　課長
郵便番号	590-0592
所在地	泉南市樽井 1-1-1
電話番号（直通）	072-447-8811
ＦＡＸ番号	072-483-0325
Ｅ－ｍａｉｌ	promotion@city.sennan.lg.jp

都道府県･市町村名	大阪府阪南市
担当者氏名	前田　雅寛
担当部署名（役職）	未来創生部 まちの活力創造課　課長
郵便番号	599-0292
所在地	阪南市尾崎町 35-1
電話番号（直通）	072-471-5678
ＦＡＸ番号	072-471-3504
Ｅ－ｍａｉｌ	m-katsu@city.hannan.lg.jp

都道府県･市町村名	大阪府忠岡町
担当者氏名	久保田　真紀
担当部署名（役職）	産業まちづくり部　産業建築課　主査
郵便番号	595-0805
所在地	泉北郡忠岡町忠岡東 1-34-1
電話番号（直通）	072-522-1122
ＦＡＸ番号	072-532-7805
Ｅ－ｍａｉｌ	tadaokasangyou@town-tadaoka.jp

様式１

都道府県･市町村名	大阪府熊取町
担当者氏名	朝倉　優
担当部署名（役職）	住民部　産業振興課　課長
郵便番号	590-0495
所在地	泉南郡熊取町野田 1-1-1
電話番号（直通）	072-452-6085
ＦＡＸ番号	072-452-7103
Ｅ－ｍａｉｌ	sangyou@town.kumatori.lg.jp

都道府県･市町村名	大阪府田尻町
担当者氏名	加藤　寛昭
担当部署名（役職）	事業部　産業振興課　課長
郵便番号	598-8588
所在地	泉南郡田尻町嘉祥寺 375-1
電話番号（直通）	072-466-5008
ＦＡＸ番号	072-466-5025
Ｅ－ｍａｉｌ	sanshin@town.tajiri.osaka.jp

都道府県･市町村名	大阪府岬町
担当者氏名	増田　明
担当部署名（役職）	まちづくり戦略室　主幹
郵便番号	599-0392
所在地	泉南郡岬町深日 2000-1
電話番号（直通）	072-492-2725
ＦＡＸ番号	072-492-5814
Ｅ－ｍａｉｌ	kouro@town.osaka-misaki.lg.jp

（登録）【地域連携DMO】 一般社団法人KIX泉州ツーリズムビューロー

様式２

記入日： 令和7年7月31日

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】
大阪府泉州地域13市町（堺市・高石市・和泉市・泉大津市・岸和田市・貝塚市・泉佐野市・泉南市・阪南市・忠岡町・熊取町・田尻町・岬町）
【設立時期】2018年4月1日
【設立経緯】区域の自治体及び観光協会が連携する組織として設立
2021年3月31日 観光庁DMO登録
【代表者】 理事長　南出 賢一
【マーケティング責任者（CMO）】 桝元 政明
【財務責任者（CFO）】 高崎 尚之
【職員数】 7人（正職員3人・出向等3人・派遣1人）
【主な収入】（R6年度決算）
105百万円　会費・負担金・支援金・補助金 95百万円、事業収入10百万円
【総支出】（R6年度決算）
106百万円（事業費 54百万円、管理費 51百万円）
【連携する主な事業者】
関西エアポート㈱、㈱池田泉州銀行
南海電気鉄道㈱、西日本旅客鉄道㈱ 他

KPI（実績・目標）

※（ ）内は外国人に関するもの。

項目		2022（R4）年度	2023（R5）年度	2024（R6）年度	2025（R7）年度	2026（R8）年度	2027（R9）年度
旅行消費額（百万円）	目標	(134,700)	(102,100)	(120,000)	(135,000)	(148,000)	(155,000)
	実績	(11,000)	(78,800)	(113,000)	—	—	—
延べ宿泊者数（千人）	目標	(1,800)	(1,370)	(2,500)	(1,280)	(1,390)	(1,440)
	実績	(260)	(810)	(1,090)	—	—	—
来訪者満足度（%）	目標	(7.0)	(6.3)	(6.5)	(6.5)	(6.6)	(6.7)
	実績	(6.2)	(6.5)	(6.4)	—	—	—
リピーター率（%）	目標	(50)	(50)	(15)	(21.0)	(21.5)	(22.0)
	実績	(35)	(6.7)	(20.7)	—	—	—

戦略

【主なターゲット】
重点市場
台湾・香港・韓国・中国等東アジア
タイ、ベトナム等の東南アジア
【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
りんくうタウン等の宿泊旅行者をターゲットとして、泉州地域の「食」「体験」等のコンテンツを活かした多様なコンパクトツアーにより消費を創出。
【観光地域づくりのコンセプト】
関西国際空港のゲートウェイ泉州
“コンパクトツアーによる地域周遊”

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】
〇泉州の歴史・風土等の背景を学びながら「食」を楽しむガストロノミーツーリズムのコンパクトツアー開発
〇泉州地域の伝統産業、歴史・風土等を体験するコンパクトツアー開発
〇手ぶら観光の関係者との連携
【受入環境整備】
〇13市町と45団体が加盟の泉州観光地域づくり連携協議会の機能強化
〇食、体験に加え「環境」をテーマとした旅行商品の開発・販売

【情報発信・プロモーション】
〇WebサイトにCRMや地域OTA等の新機能を導入することにより、機能強化とユーザーの利便性向上を目指す。
〇泉州エリアの情報をSNSにより、十分な情報収集と丁寧な取材により発信。
〇大阪・関西万博に関連しイベント等で泉州地域の観光PRを実施。
【観光地域づくり・連携強化】
〇セミナー、ワークショップ等を通じて、地域の事業者や住民との連携を強化。

「ガストロノミィツーリズム コンテンツ」

「体験型コンテンツ」